



社労士のつぶやき(73) 交通事故を考える

私は兵庫県神戸市に住んでいますが、ときどき交通問題について考えています。社労士ですから、もちろん自動車事故と労災の関係が中心です。兵庫県の自動車事故の件数は、都道府県別で全国7位。お隣の大阪は2位です。事故件数は人口と自動車の台数に比例すると言われていいますので、不適切な表現ですが「妥当なランク」なのでしょう。しかし・・

兵庫県は商業のまち・大阪の西隣にあります。そして一時に比べるとその勢いが衰えたとはいえ、神戸には港があります。もちろん大阪にも。そしてこの2府県には、但馬空港も含め空港が4つもあり、港湾も空港もそれぞれが物流の出発点になっています。それらを繋いでいる道路として数えられるのがまず阪神高速湾岸線であり、そこから大阪環状線を通して阪神高速、名神高速、さらに中国自動車道、舞鶴道、播但連絡道路・・・と有料道路が無限に続いています。四国には明石海峡大橋を渡ります。但馬空港へは舞鶴道から北近畿有料道路を利用します。トラックが運ぶ荷物はいったん高速を降り、倉庫などの物流拠点に集められて再び工場や店舗、家庭に運送されていきます。何を言いたいのかと言えば、この2府県の物流拠点を結ぶ有料道路の大部分が兵庫県域を通っているということ、さらに一般道路も無数に張り巡らされ、大型トラックなどが行き来している、という事実です。つまり物流が阪神間に異様に集中しているのです。そのため、事故になるのは兵庫や大阪ナンバーだけではありません。新聞に県内の交通事故のベタ記事が載っていますが、他府県ナンバーの何と多いことか。大阪と兵庫が全国2位と7位であっても、決して人口と自動車の保有台数だけで判断してはならないのです。

社労士の話に戻すと、労災事故はあくまで「事業所の所在地主義」です。兵庫県で発生した事故でも、運送会社が山口県にあれば山口県の事故件数になるのです。しかしこれは逆も然り、です。兵庫と大阪のトラックが別の都道府県で事故になるケースも当然考えられます。

社労士になってから、自動車事故に非常に敏感になってしまいました。この1月も遠く福井県の北陸道や宮城県東北自動車道が雪で埋まり、自動車の立ち往生が数日間続きました。福井の立ち往生に遭遇した大阪の運送業の男性は、トラックを停めたまま雪の高速を歩いて降り、コンビニで食料品を買い込んだ、という記事が載っていました。彼の事は労災事故にすら数えられません。しかし、運転手を含めて従業員の労働環境を良くしなければならぬ、という私たち社労士にとっては、これは日本海側の遠い出来事ではなく、非常に身近な問題です。

運転手の皆さん、くれぐれもお気をつけて。

社労士事務所アジュール 高 龍弘

燃料カードの価格表【2021年2月分】

AMSカード ※共通利用可能		ENEOSビジネスカード		全国共通・燃料カード ※カードはメーカーごとに発行			
油種	ENEOS・Shell・COSMO	油種	ENEOS	油種	COSMO	ENEOS	宇佐美
レギュラー	124.0円	レギュラー	128.0円	レギュラー	125.3~127.3円	125.3~127.3円	124.6~126.6円
ハイオク	134.0円	ハイオク	138.0円	ハイオク	135.3~137.3円	135.3~137.3円	134.6~136.6円
軽油	106.0円	軽油	106.0円	軽油	101.4~103.4円	105.7~107.7円	102.4~104.4円
【価格は税抜】		【価格は税抜】		【価格は税抜】			
全国共通・燃料カード ※カードはメーカーごとに発行							
油種	ENEOSウイング	FLEX&TRUST カード(Shell)	TRUST&FLEX カード(出光)	エネクスフリート			
レギュラー	122.5~124.5円	123.8~125.8円	125.1~127.1円	121.0~123.0円			
ハイオク	132.5~134.5円	133.8~135.8円	135.1~137.1円	131.0~133.0円			
軽油	97.4~99.4円	104.5~106.5円	100.3~102.3円	99.1~101.1円			
【価格は税抜】							